

さぽせんニュースレター

2007 年 春号

<http://business2.plala.or.jp/support/>



茅ヶ崎市民活動フォーラム 2007を終えて

団塊世代の方々を暖かく地域に迎えたい、いつまでも元気で輝いていて欲しい、との趣旨で茅ヶ崎市民活動フォーラム 2007「地域で輝けシニアライフ」(主催 NPO サポートちがさき)が去る 3 月 24 日に茅ヶ崎市役所コミュニティホールで開催されました。

フォーラムは「NPO 法人フュージョン長池」代表の富永一夫さんによる NPO 立上げの体験談や成功の秘訣を語った基調講演に続き、市内の齋藤博正さん、堀越達夫さん、伊藤真咲さんをお迎え、市民活動に参加した経緯やフォーラムに参加された皆様方へのお誘いなどが語られました。また、服部市長からも暖かいメッセージが寄せられました。

休憩時には市内の市民活動団体の展示を見ながら一息入れて、小田一葉さんのミニコンサートとなりました。池上真吾さんらの琴の伴奏に合わせ、「ディープ・リバー」などの独唱は洋と和の調和が絶妙で新鮮、最後に全員で「ふるさと」の合唱。会場がとてもなごやかな雰囲気でした。

会場でいただいたアンケート結果から、今回のフォーラムは私たちが意図した年代層に望まれるメッセージが送られたのではないかと自負しています。いろいろな分野で、いろいろな人々と繋がりを持って仲間を作り、楽しく助け合うことを目指して、活動していただきたい・私たちの「願い」を更に大きく育てて行きたいと感じたフォーラムでした。

夫が退職して、まず始めに思ったのは3度の食事を作らねばならないこと。仕事一筋だった夫は地元の方々との接点を求め、とりあえずシルバー人材センターに登録したのです。これがきっかけで地域での活動を始め、この「シニア地域デビュー支援」に情熱を注ぎましたが、昨年、病のため他界いたしました。

今回、パネリストの皆様のお話を聞きながら、夫がやりたかったことが素直に理解できました。この会場にお集まりいただいた方々もちょっと勇気を出して、地域に一步踏み出してみませんか。

私はしばらく休んでいた山歩きを始めてみようかと思っています。

辻堂駅前チラシ配り体験記

鳶田 壽男

2月28日、朝7時から寒風のなか辻堂駅前、香山氏はプラカードを掲げ「シニア向けフォーラムを行いま〜す……」と連呼し、私はチラシ配りに専念。しかし、ほとんどコートに手を突っ込んだまま素通り。でも50分後にはどうにか1枚を残すまで漕ぎ着けた。

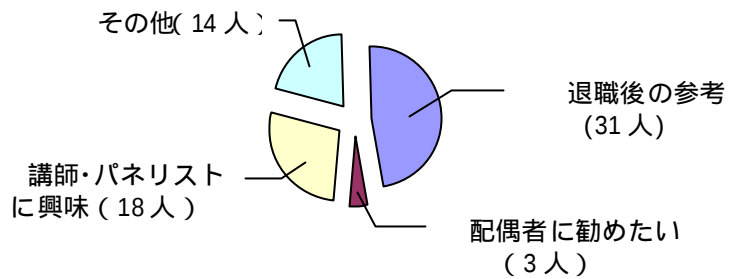
しかし、最後の1枚が受け取ってもらえない。その時、新聞売りのお婆さんが見るに見かねて、「私が配ってあげますから」と、救いの手を出してくれた時には涙が出るほど嬉しかった。

小田一葉(かずは)さんからのメッセージ

今回は、初めてお琴とのコラボレーションに挑戦しました。楽器の特性上、再現することが難しい楽曲ばかりだったにもかかわらず、琴奏者のお二人(池上 眞吾さん・堀 歌夕希さん)はそれらをととても素晴らしい形に再現してくださいました。皆様のお陰で、素晴らしい演奏家との共演を実現することができ、私自身も、とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

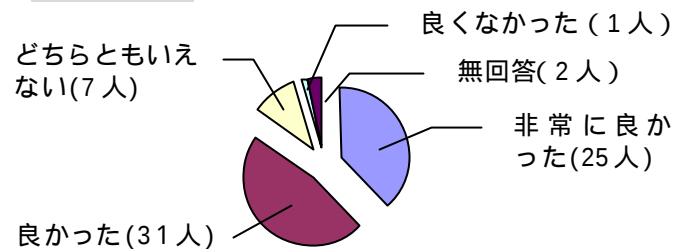


■このフォーラムに参加された動機はなんですか？

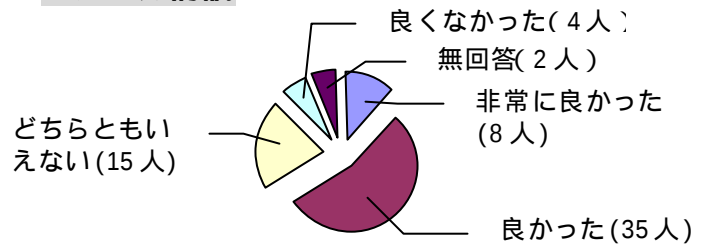


■今日のフォーラムの内容はいかがでしたか？

基調講演



パネル討論



今回の詳しいアンケート結果はホームページでご覧になれます。

参加者のフォーラムに対するご意見やご感想

初めて参加させてもらいましたが、自分から勇気を出して一步を踏み出せば先が開けると聞き、私もチャレンジしてみたいと思いました。

基調講演の講師の人柄なのか、とてもいい講演であった。

参加者をシニアとしていましたがもっと若い人が来ても良かった。

パネルを出した団体は1分でいいから、紹介時間が欲しかった。

—編集後記—

今回のフォーラムに参加された方の中で、更にもう一步を考えてみたいとアンケートに書かれた方が多数いらっしゃいました。その方々が楽しく交流できる場を企画しています。さくら咲く春は期待の時期でもあります。 香山記